

# 発達障がいの正しい理解

公益社団法人 子どもの発達科学研究所  
副所長・主任研究員 大須賀 優子



© Child Developmental Science Research. | Confidential | 許可のない複製を禁じます。

1

## 発達障がいの正しい理解

### 通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果 (令和4年)

<小学校・中学校>

	推定値(95%信頼区間)
学習面又は行動面で著しい困難を示す	8.8% (8.4%~9.3%)
学習面で著しい困難を示す	6.5% (6.1%~6.9%)
行動面で著しい困難を示す	4.7% (4.4%~5.0%)
学習面と行動面ともに著しい困難を示す	2.3% (2.1%~2.6%)

© Child Developmental Science Research. | Confidential | 許可のない複製を禁じます。

2

## 発達障がいの正しい理解

### 自閉スペクトラム症 (Autism Spectrum Disorder: ASD)

【診断基準(DSM-5)で示されている特性】

- 社会的コミュニケーション及び相互関係における持続的な障害
- 限定された反復する様式の行動、興味、活動

© Child Developmental Science Research. | Confidential | 許可のない複製を禁じます。

3

## 発達障がいの正しい理解

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 対人交流の苦手さ 相手と感情をわかち合うことができない 双方向の対人交流が続きにくい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 言語的コミュニケーションの苦手さ 独り言、エコーリア イントネーションの不自然さ 会話がかみ合わない、たとえ話がわからない、空気が読めない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 非言語的コミュニケーションの苦手さ 表情、姿勢、身振り、指さし、視線、言外の意味、話の文脈の把握が苦手</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 関心 特定の物に強い興味を持つ(それ以外にはほとんど興味がない)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● やり方 特定の手順のこだわる 常同的な動作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ペースの維持 自分のペースを乱されたくない</li> </ul>

本田秀夫「自閉スペクトラム症の理解と支援」参照  
© Child Developmental Science Research. | Confidential | 許可のない複製を禁じます。

4

## 発達障がいの正しい理解

### 注意欠如多動症 (Attention Deficit Hyperactivity Disorder: ADHD)

【診断基準(DSM-5)で示されている特性】

- 発達水準に不相应な不注意、及び／または、多動-衝動性

© Child Developmental Science Research. | Confidential | 許可のない複製を禁じます。

5

## 発達障がいの正しい理解

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 不注意 片付けられない 忘れ物が多い やりっぱなしが多いなど</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多動 じっとしてられない もじもじそわそわしている 過度なおしゃべりをする など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 衝動性 順番が守れない 思いついたら他人の話を遮って喋り出す 怒ると乱暴になることがある など</li> </ul>
--	--	---

© Child Developmental Science Research. | Confidential | 許可のない複製を禁じます。

6

発達障がい正しい理解

### 学習障害【文部科学省の定義】 (Learning Disabilities: LD)

全般的に知的発達に遅れはないが、「聞く」「話す」「読む」「書く」「計算する」「推論する」といった学習に必要な基礎的な能力のうち、一つないし複数の特定の能力についてなかなか習得できなかったり、うまく発揮することができなかったりすることによって、学習上、様々な困難に直面している状態

© Child Developmental Science Research. | Confidential | 許可のない複製を禁止します。

7

発達障がい正しい理解

### 限局性学習症 (Specific Learning Disorder: SLD)

【診断基準(DSM-5)で示されている特性】  
学習や学業的スキルに困難があり、その困難を対象とした介入が提供されているにもかかわらず、以下の症状の少なくとも1つが存在する

- 不的確または速度が遅く、努力を要する読字
- 読んでいるものの意味を理解することの困難
- 綴字の困難さ
- 書字表出の困難さ
- 数字の概念、数値、または計算を習得することの困難さ
- 数学的推論の困難さ

© Child Developmental Science Research. | Confidential | 許可のない複製を禁止します。

8

発達障がい正しい理解

### 発達性協調運動症 (Developmental Coordination Disorder: DCD)

【診断基準(DSM-5)で示されている特性】

- 協調運動技能の獲得や遂行が、その人の生活年齢や技能の学習および使用の機会に応じて期待されているものよりも明らかに劣っている。
- (前述の)運動技能の欠如は、生活年齢にふさわしい日常生活動作(例: 自己管理、自己保全)を著明および持続的に妨げており、学業または学校での生産性、就労前および就労後の活動、余暇、および遊びに影響を与えている。

© Child Developmental Science Research. | Confidential | 許可のない複製を禁止します。

9

発達障がい正しい理解

### 「発達障がいの特性がある」=「障害」?

発達障害者支援法 第2条2項  
発達障がいがある、  
発達障がい及び社会的障壁により日常生活又は社会生活に制限を受けるもの

「質の高い教育」「特別支援教育」「教師や友人との良い関係」「満足感のある活動」「学校風土のよさ」は、  
子どもの発達を守る「**保護因子**」

「理解」と「支援」が必要な「**個性**」(上野一彦先生)

© Child Developmental Science Research. | Confidential | 許可のない複製を禁止します。

10

発達障がい正しい理解

### 「発達障がい」ではないですが 先生方に知っておいていただきたいこと

© Child Developmental Science Research. | Confidential | 許可のない複製を禁止します。

11

発達障がい正しい理解

### 境界知能 (borderline intellectual functioning)

- (一般に)IQ71以上~85未満
- 学習の理解に時間がかかる
- 授業のスピードについていけない
- 会話についていけない
- 伝えたいことをうまく表現できない
- 整理整頓が難しい など

にもかかわらず、  
**支援の対象になりにくい**

知能指数

知能指数	割合
知的障害 (IQ < 70)	2.2%
境界知能 (IQ 71-85)	13.6%
平均の範囲 (IQ 85-115)	66.2%
その他 (IQ > 115)	95.4%

© Child Developmental Science Research. | Confidential | 許可のない複製を禁止します。

12

発達障がい正しい理解

### 起立性調節障害 (Orthostatic Dysregulation: OD)

自律神経の働きが悪くなり、起立時に身体や脳への血流が低下する「身体(からだ)」の病気

- 朝、起きられない
- 立ちくらみ、めまい
- 動悸、倦怠感や頭痛・腹痛など
- 午前中に調子が悪く、午後になると徐々に回復
- 季節の変わり目に症状が悪化する
- 天候の変化(気圧の変化)が症状に影響を及ぼす

無気力? 怠け? さぼり? 心理的な問題?

© Child Developmental Science Research. | Confidential | 許可のない複製を禁止します。

13

発達障がい正しい理解

### HSC (Highly Sensitive Child)

敏感で繊細、感受性が高いなどの気質を生まれ持つ子ども (エレイン・E・アロン博士)

- 刺激(音、光、痛み、かゆみ、肌触り、匂い、...)に敏感
- 刺激を受けやすく、疲れやすい
- にぎやかな場所や集団行動が苦手
- 共感する能力が高い(高すぎて本人の負担になることも...)

© Child Developmental Science Research. | Confidential | 許可のない複製を禁止します。

14

発達障がい正しい理解

### 「発達障がいかも?」と思ったら...

「個人攻撃」の罠  
「当たり前」の罠  
に 注意!

「理解」  
「早期発見・早期介入」

- ➡ 基本的な発達の知識をもとに支援の提供を。
- ➡ 専門家の活用も。

© Child Developmental Science Research. | Confidential | 許可のない複製を禁止します。

15

発達障がい正しい理解

### 当たり前の罠

日本は「みんなと一緒に」を重んじる。  
「みんなと一緒に」ができて当たり前。  
「当たり前」ができないと叱られる。  
「当たり前」は「当たり前」だから、**教えてもらえない。**  
「当たり前」は「当たり前」だから、**できても褒めてもらえない。**

© Child Developmental Science Research. | Confidential | 許可のない複製を禁止します。

16

発達障がい正しい理解

### 当たり前の罠

日本は「みんなと一緒に」を重んじる。  
「みんなと一緒に」ができて当たり前。  
「当たり前」ができないと叱られる。  
「当たり前」は「当たり前」だから、**教えてもらえない。**  
「当たり前」は「当たり前」だから、**できても褒めてもらえない。**

「違いがあること」を前提に、叱らず、丁寧に教え、  
子どもの行動を価値づけていきましょう

© Child Developmental Science Research. | Confidential | 許可のない複製を禁止します。

17

まとめ

### まとめ

- 今の教師は、脳機能の多様性のある教室で教えなければならない。それはとても大きな挑戦でもある。(Lampert, Graves & Ward, 2012)
- 脳の発達特性の理解を進め、脳機能の視点で、わかりやすい、安心な学校環境を提供することが重要。
- 当たり前の罠に注意!
- 「違いがあること」を前提に、叱らず、丁寧に教え、子どものポジティブな行動を価値づけていきましょう

© Child Developmental Science Research. | Confidential | 許可のない複製を禁止します。

18

公益社団法人  
子どもの発達科学研究所